

笑顔のふれあい

コミュニケーション



佐久総合病院のごあんない



長野厚生連  
佐久総合病院

〒384-0301 長野県佐久市臼田197番地  
TEL(0267)82-3131 FAX(0267)82-9638  
URL <http://www.valley.ne.jp/~sakuchp/>

# 生きがいと安心のある地域

佐久病院は昭和19年1月、産業組合(現在の農協)の病院として発足しました。当時南佐久郡23カ町村のうち13カ村は無医村でした。以来農村地域の医療を守る活動が続ける中で、私たちは一貫して「地域の住民の要望」に沿った仕事をしようと心がけてきました。



私たちの仕事は単なる病院としてだけでなく、保健・医療・福祉が一体化した総合的センターとしての役割を地域の中で果たしていくことだと考えています。

診療所から救命救急センターまでの第一線医療から高度の専門医療、看護専門学校や農村医学研究所、農村保健研修センターなどの教育・研究活動、巡回検診や人間ドックなどの保健活動、老人保健施設、在宅医療、訪問看護などの福祉活動などさまざまな活動をとおして、「農民とともに」の精神を忘れずに、つねに住民第一主義を貫き、地域を大切に今後も取り組んでまいります。

## 基本理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で、医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、生きがいある暮らしが実現できるような地域づくりと、国際保健医療への貢献を旨とします。

## 行動目標

- 1 第一線医療の充実と高度専門医療の向上を図るとともに、保健・医療・福祉を一体化した地域の基幹病院として役割を果たします。
- 2 農業と農村を守り地域文化活動を発展させ、地域と連携した「メディコ・ポリス」の実現に努めます。
- 3 研究・教育は病院の大きな任務であることを自覚し、医師の卒後研修や職員研修を通じ、地域医療の実践に役立つ人材の養成に努めます。
- 4 農村医学をさらに推進し、プライマリー・ヘルスケア医学を確立し、中国ならびに発展途上国の国際保健医療に貢献します。
- 5 患者第一主義に徹するとともに、患者さんの権利と責任を明確にし、情報公開とサービスの向上に努めます。

患者さんの権利と責任

一、適切な治療を受ける権利

二、人格を尊重される権利

三、プライバシーを保護される権利

四、医療上の情報の説明を受ける権利

五、関係法規や病院の諸規則を知る権利

これらの人間としての倫理原則をお互いに大切にしなければならぬ。

しかし、患者さんも、病院から指示された療養については、専心これを守ることを心がけなければならない。

医師と協力して療養の効果をあげるこそが大切なのである。

一九八三年一月

六、安全な医療を受ける権利

七、自己決定の権利

八、苦情を申し立てる権利

九、セカンドオピニオンを求める権利

二〇〇四年十二月改訂

佐久総合病院



# づくりをめざして

## 質が高く心あたたまる 高度医療をめざして

### 救急医療・高度先進医療の実践

「住民の要望」の第一は、急病になった場合の対応です。救命救急センターを中心に、24時間の診療体制で必要なときに適切な治療をモットーに、職員全員で行うより良いチーム医療をめざしています。平成17年7月から、信州ドクターヘリが配備され全県下対象に運航が開始されました。この取り組みにより救命率の向上や予後の改善など、県民の安全・安心な暮らしの向上に期待が寄せられています。

また、良い医療、質の高い医療の提供のために、私たちは患者さんのそれぞれの病状に対してきちんと対応のできる姿勢をもち、常に技術の修練に励むとともに、高度先進医療にも広く取り組んでいます。



手術室での高度なチーム医療



救命救急センターで処置をする医師団



日帰り手術センターで手術に向かう患者さん



内視鏡的粘膜切開・剥離手術



訪問診療



訪問看護

## 誰もが地域で安心して暮らせるために

### 在宅医療・福祉の取り組み

在宅医療福祉活動は、高齢社会の中で地域のニーズが大きくなってきています。地域ケア科、訪問看護ステーション、在宅介護支援センターを中心に、住民の介護サービスに取り組んでいます。

また、地元の JA や市町村、ボランティアなど住民組織とのネットワークづくりも進めています。



宅老所「やちほの家」

## 地域の中へ

### 第一線医療の取り組み

現在、多くの病院・診療所へ医師を派遣し、密接に連携しながら地域の第一線医療を実践しています。とくにへき地・農村山間部における健康管理活動や一般診療、在宅ケアにも積極的に取り組んでいます。



JR 小海駅舎内の佐久総合病院付属小海診療所



小海分院の受付

## お年寄りの介護は、みんなの力で

### 全国に先駆けた老人保健施設

昭和 62 年全国に先駆けて、厚生省のモデル施設の指定を受けて、病院と在宅を結ぶ中間施設として老人医療を支える活動が始まりました。老人保健施設は単なる「収容」の施設としてではなく、何よりもお年寄りが生きがいを持って暮らせるような、生活の場としての施設をめざしています。



佐久老人保健施設の取り組み



## 健康な地域づくりをめざして

### 保健活動の取り組み

佐久病院は設立当初から予防活動、保健活動の取り組みに力を注いできました。

昭和 48 年には長野県厚生連健康管理センターが当院に併設され、現在では年間 10 万人を越す地域の皆さんが集団健康スクリーニングを受診されています。

また人間ドックも早くから積極的に行い、がんを始めとする成人病(生活習慣病)などの早期発見・早期治療に全力を注いでいます。



らせんCTによる検診



集団健康スクリーニングの様子



### 長寿信州・低医療費の基盤づくりに貢献

60 年前から出張診療を始め、八千穂村の全村健康管理を実施、長野県全域の集団健康スクリーニングに発展、それが全国の集団検診のモデルになりました。住民の自主的な健康づくりの運動にも一緒に参加して「早期発見」「早期治療」「予防は治療に勝る」を合言葉に地域の人々とともに健康を守る活動に取り組んできました。長寿で、全国で最も低い医療費の長野県の健康特性を生み出す成果に貢献しています。



研修医教育の取り組み



昭和 36 年から始まった夏季大学講座



## 安全で安心な農村に 農民への思いやりの心を育む

### 佐久病院の研究・教育活動

佐久病院では終戦直後から農民の健康について調査研究に取り組んできました。

昭和 22 年からは臼田町の小満祭に合わせて「病院祭」を行っています。昭和 36 年には夏季大学講座を開講。昭和 38 年には日本農村医学研究所が設立。昭和 52 年にできた財団法人農村保健研修センターでは保健医療関係者の再教育研修の事業も行っていきます。

また看護師の養成や研修医教育指定病院として医師の教育にも力を注いでいます。



病院祭でパネル説明する看護師

## 文化・スポーツ活動は 地域との交流の架け橋に

### 「ふれあいギャラリー」と「いこいの広場」 は患者さん、地域のふれあいセンター

佐久病院にはコーラス・吹奏楽などの音楽部や、野球・バレー・卓球などの体育部、文化サークルもたくさんあり、地域の中での活動はもとより、県内外の大会にも出場し好成績をあげています。また、廊下には「ふれあいギャラリー」があり、定期的に地域の人たちの作品が展示され、文化の交流の場になっています。中央の待合ホールは夕方になると「いこいの広場」に早変わり、患者さんのためのコンサートなどが行われます。



いこいの広場でコーラスの発表会

## 佐久病院の あゆみ

- 昭和 19年 1月 病院開設
- 20年 3月 若月俊一が外科医長として赴任
- 12月 出張診療活動を始め
- 22年 5月 第1回衛生展覧会「病院祭」を開催
- 10月 戦後、全国初の病院給食を行う
- 25年 カリエス手術に取り組む
- 29年 4月 健康管理部を新設、保健予防活動にさらに力を入れる
- 9月 小海町診療所開設
- 34年 6月 八千穂村全村健康管理始まる
- 36年 8月 第1回農村医学夏季大学講座開講
- 38年 1月 日本農村医学研究所設立
- 43年 7月 臨床研修指定病院に指定される
- 44年 10月 第4回国際農村医学会議開催（於 臼田町）
- 48年 10月 長野県厚生連健康管理センター併設。  
全県下にわたる「集団健康スクリーニング」開始
- 52年 11月 農村保健研修センター設立、教育研修事業始まる
- 58年 3月 がん診療センター完成
- 10月 救命救急センター（ICU）完成
- 62年 4月 佐久総合病院老人保健施設開所（全国7モデルの一つ）
- 平成 6年 4月 地域災害拠点病院に指定される
- 5月 県内初の日帰り手術センター設立
- 9月 療養型病床群（完全型）開設
- 10月 地域医療部を新設し、「地域ケア科」を確立
- 13年 4月 佐久総合病院美里分院、老健こらみ開設
- 15年 4月 日赤小海病院の後医療を受け、小海分院開設
- 17年 7月 新小海分院完成
- 7月 信州ドクターヘリ運航開始

## 佐久病院の 地域医療ネットワーク

当院の診療圏は神奈川県よりやや広い診療圏を有するものの、人口密度はその20分の1に過ぎない。ことに南部には多くの過疎地が存在し、医療機関は極端に少ない。このような地域の全ての国保診療所に常勤医師を派遣し、その中核となる分院や付属診療所、老健、特養、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、さらには在宅老所を運営し、これらが有機的、機能的にネットワークを形成し、面としての地域包括的医療を担っている。保健・医療・福祉の充実が地域社会のセイフティネットの基盤であり、文化活動をも促し、社会の継続性に繋がるのではないだろうか。



# 佐久総合病院の概要・関連施設



小海分院

名称/長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院  
 所在地/長野県佐久市白田 197 番地(〒 384 - 0301)  
 電話/TEL 0267 (82) 3131 (代表) FAX 0267 (82) 9638  
 ホームページ/ <http://www.valley.ne.jp/~sakuchp/>  
 開設/昭和 19 年 1 月 12 日  
 開設者/代表理事理事長 滝澤 瑛光  
 病院長/夏川 周介

診療科目/内科・精神科・神経内科・呼吸器科・胃腸科・アレルギー科・小児科・  
 外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心血管外科・  
 皮膚科・泌尿器科・こころ科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・気管  
 食道科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科・矯正歯科・  
 歯科口腔外科・心療内科・リウマチ科・循環器科

病床数/一般病床(600 床)、ICU(20 床)、精神科病床(112 床)、感染症  
 病床(4 床)療養型病床(40 床)、人間ドック(45 床)、合計 821 床  
 美里分院 120 床、小海分院 99 床、佐久老人保健施設 94 床、老人  
 保健施設こうみ 59 床

関連施設/佐久総合病院看護専門学校・財団法人日本農村医学研究所・長野県  
 厚生連健康管理センター・財団法人農村保健研修センター・佐久東洋  
 医学研究所・うすだ在宅介護支援センター・やちほ在宅介護支援セ  
 ンター・訪問看護ステーションうすだ・訪問看護ステーションやち  
 ほ・訪問看護ステーションのざわ・訪問看護ステーションあさしな、  
 訪問看護ステーションこうみ・宅老所「やちほの家」・のざわ居  
 宅介護支援事業所

諸指定/臨床研修指定病院・がん診療中核的病院・へき地中核病院・心臓疾  
 患基幹病院・救命救急センター・老人性痴呆疾患センター・地域災害  
 医療センター・エイズ治療拠点病院・感染症指定医療機関・第 2 種  
 感染症指定病院

※当院は財団法人日本医療機能評価機構の定める認定を受けています。

(平成 17 年)

## ※交通機関の案内

しなの鉄道小諸駅より小海線乗り換え臼田駅下車、徒歩10分  
 長野新幹線佐久平駅より車で20分。小海線乗り換え臼田駅下車徒歩10分  
 高速バス池袋-臼田線・長野-臼田線(佐久病院終点)

